

しりサポ丸

第40号 令和6年2月



ふかふかひろば 作

企業名や事業所名は敬称略で掲載させていただいております。
掲載されている写真はご本人様及びご家族の同意を得ています。

サポートセンターたね

昨年まではコロナ禍ということがあり、規模の縮小や開催時間の短縮などをしながら各行事を開催してきました。しかし、令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、今年度は少しずつコロナ禍以前のスタイルに戻っていきました。

そこで今回は、4月～12月までの行事を振り返っていききたいと思います。

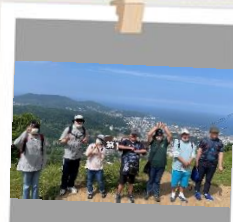
たねの
1年間



6月
ハイキング



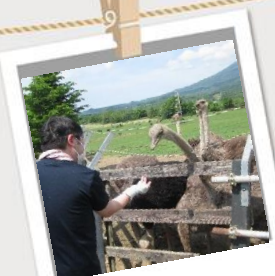
円山公園でひと休み



天狗山でハイチーズ!



天狗になりきり♪



ダチョウにえさやり

9月
たね感謝祭



的あて!よく狙って!



大物釣れた〜🐟



フリマでお買い物★



カラオケでバリバリ♪

10月
ハロウィン



TRICK or TREAT!



みんなで仮装

12月
クリスマス

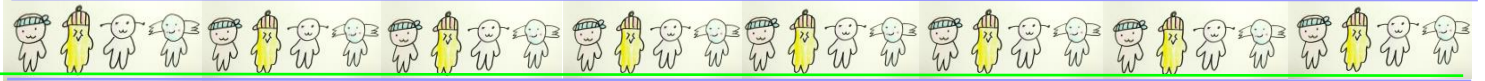


風船 de 文字当て



ビンゴ大会 with サンタ

皆さんのリクエストを聞きながら、今年度以上に楽しんでいただけるような行事を今後も企画していきたいと思
います! (あらかわ し)



グループホーム

今回のテーマはお金です。

まず、生活する上でお金は必要です。しかし、お金の使い方、お金を得る方法、お金のやりくりの仕方など、みなさん誰かに習いましたか？多くの方が、「何となく」「段々とわかるようになって」「見様見真似」でお金を扱っていると思います。

そのため、学ぶタイミングを逃すと、わからないことが多くなってしまいうように思います。また、基本は目に見えぬ学習のため、見えないものが苦手な特性を持っている方は、わからないままになってしまいがちです。

グループホームでは、個々の理解度や必要度に合わせた金銭確認の場面を設けています。

まずは、一緒に収支を確認しています。収入となると額が大きくなりづらいところもあるので、『今手元にある金額』『使用して良い上限（週単位、月単位）』『実際に使った額（レシートを確認）』をそれぞれ書き出してもらっています。やっていくなかで、「先月よりおやつを買わなかった」「今月は虫歯の治療でお金がかかった」など、自分事として捉えることができるようになってきたと思います。

ご本人が将来困らないよう、その子やその人に合わせて少しずつお金の使い方を学んでいけたら良いと思います。でも、「じゃあ、何から始めたら良いの？」と迷うこともあると思いますので、身近にある「お金の学習」をいくつかあげてみます。

お買い物ごっこ
お金と物の等価交換を学ぶ。



人生ゲーム
ゲームをしながら、お金を得ること、使うことを疑似体験できる。

※勝負にのめり込み過ぎる方は不向きかも？



お手伝いポイント
*お手伝いをすると好きなシールをためることができる。
→達成感につながる。
*お手伝いすることで、おこづかいやおやつ等がもらえる。
→行動と報酬の等価交換を学ぶ。

ろうかのぞうせんがけ	10えん
けんがんのぞうじ	20えん
れいぞうこふき	10えん
せんめんじよのぞうじ	10えん
トイレぞうじ	10えん
うわぐつをあらう	20えん

積み重ねていくことで、お金を扱うことが難しいことではなく、「自分でわかること」「楽しいこと」につなげていければと思います。（さかもと）





〈冬休みのイベント&活動〉

今回もイベントに「初めて」を取り入れ、日常と違う活動ができるよう考えました。また、屋内活動ではカルタ製作を行い、お正月遊びを楽しみました。カルタの文章や絵の素晴らしいできあがりによりスタッフ一同感心しました！その他、雪遊びを中心に運動不足にならないようストレッチ等の活動も行いました。

① necco で映画鑑賞！！



コンビニで好きなお菓子とジュースを買って、necco で映画鑑賞会！

荒：「何、頼んだの？」
Jくん：「…」
近：「えび天そば」
荒：「渋いチョイス…」
Jくん、無言で食べる

② 倶知安の風土館へ！！



タヌキのはく製もいたよ



昭和にタイムスリップ

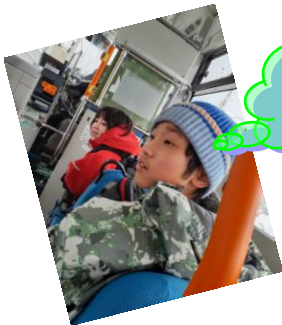


陽だまりでランチ

③ 循環バスに乗って余市イオンへ！！

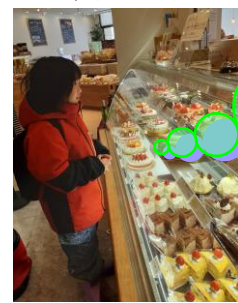
味の時計台

シャトレゼ



イオン
楽しみ～!!

にんにく
増し増し



やっぱり
デザートは
🍓のケーキ
一択でしょ

④ そのほか

カルタを作ったよ

真剣…

雪遊び

空き箱製作



今回のイベント…①映画鑑賞は買って来たお菓子を食べながらゆったり😊②風土館では、昭和の車や家の中が気に入った様子！ランチも美味しかったです😊③循環バスでイオンへ！ラーメンを味わった後、時間をかけておやつを選んでいました🍪みんな、イベントにも慣れ落ち着いて参加できるようになってきています👍

今後も公共交通機関や公共施設を利用し、楽しくマナーやルールを知らせていきたいと思います。（こんどう）



ほぶねっと

平成28年6月にスタートした、法人の独自事業です。ほぶ=『自分のペースで歩み出せる』、ねっと=『誰かとつながれる場所』というのがネーミングの由来です。

『学校等の集団はちょっと苦手。でも家族以外の人とお話したい』『次のステップへ踏み出したいけれど自信がない』など、今すこし悩みを抱えている方が頑張り過ぎずに安心して過ごすことができたり、ちょっと元気になれる『居場所』を目指して活動を続けています。

何をしてもいいし、何もしなくてもいい場所を謳っていて、プログラムは決まっていませんが、ここ数年はみんなでの昼食づくりが重要なミッションとなっています。それぞれが無理せず担えることを行い、必ずとても美味しく、そしていつもボリュームなので「お腹いっぱい動けない〜」となる、思わず笑みがこぼれる時間となっています。昼食後は、その日の気分やメンバーによって、趣味の話をしたり、卓上ゲームをしたりなど、やりたいことをして過ごしています。

今年度は、夏に洞爺湖ドライブ、クリスマスはパンケーキづくり、新年会は恒例のカラオケを楽しみました！



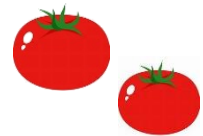
パンケーキ ブッフェスタイル☆



カラオケ
歌屋♪

毎週火曜日10時から14時、法人事務所で開所しています。ご興味のある方は見学もできますので、まずはお問い合わせください。お問い合わせ先：0136-23-4722 (つりべ)

羊蹄山ろく発達支援センター とまと



～プレ療育について～

平成29年9月に羊蹄山ろく7か町村の保健師と子育て支援センターの先生、羊蹄山ろく発達支援センタースタッフが中心となり、地域の子育てカUPに向けた取り組みを検討する、子育てワーキンググループを立ち上げました。

その活動の1つとしてプレ療育が平成30年にスタートしました。

日々子育てに奮闘している保護者のみなさんに適切な情報を届けられるように、【子どもへの関わり方を保護者と一緒に考える場】【発達の経過を保護者と関係者がじっくり確認できる場】【保護者の不安を軽減できる場】を目的として年4回行っています。

乳幼児健診等で保健師に、「言葉が出てこない…」「落ち着きがないけれど、幼稚園に入ったら、大丈夫かな。」など、お子さんの心配を話されるお母さん方がいらっしゃいます。保健師からアドバイスをもらい家庭で実践されますが、なかなかうまくいかず、行き詰まってしまうことも…。そのような時にプレ療育を紹介し希望された方が参加しています。1回だけの方もいますし、何度か利用される方もいます。



プレ療育では、お子さんと子育て支援センターの先生やとまとのスタッフが一緒に遊びます。その場面を見ながら、大人が今どのような意図で声かけをしたり関わっているのか、その子の状況や関わりがわかって、家に持ち帰ってできるように保健師がお母さんに伝えます。

プレ療育に参加されたお母さんからは「本人に合わせた言葉かけや関わりが大事だと思った」「家でも同じ遊びをやってみた。楽しく遊べて良かった」等の感想をいただいています。

今後も、子育てに奮闘されているお母さんの不安や心配が少しでも和らぎ、楽しく子育てができるよう、サポートしていきます。(すがわら)

羊蹄山ろく相談支援センター

羊蹄山ろく地域自立支援協議会 担当者会議での取り組み

今年度の自立支援協議会担当者会議のテーマの1つに「支援者のスキルアップを図る」を掲げ、知識を共有・学べる機会を作りました。今回はそのなかで学習したことを3つご紹介します。

「障害福祉に関する手続きについて勉強しよう」

8月は担当者会議に参加されている倶知安町役場福祉医療課、京極町役場健康推進課の福祉窓口担当の方々に障害福祉の手続きや制度、サービスについて話をさせていただきました。



障害者手帳は、療育手帳・精神保健福祉手帳・身体障害者手帳の3種類があります。療育手帳を取得するためには、18歳未満の場合は北海道中央児童相談所にて、18歳以上は心身障害者総合相談所で判定を受ける必要があります。精神・身体の手帳については、医師の意見書をもって役場で手続きすることができます。また、障害者手帳を持っていることで利用できるサービスとしては、公共交通機関・有料道路・携帯電話料金の割引、税金の控除、NHK受信料の免除、日常生活用具の給付などがあります。

このように障害者手帳の情報やその他自立支援医療の概要、障害福祉サービスの所得区分などを改めて学び直す機会となりました。

「地域包括支援センターが取り組む地域包括ケアシステムの紹介」

10月は真狩村地域包括支援センターの施設長様に地域包括ケアシステムについて話をさせていただきました。国は地域共生社会の実現を目指しており、高齢者分野では以前よりこの考え方が推進されていたため、障害者分野の私たちが勉強できる機会としました。



地域包括ケアが目指すものは、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、医療や介護、福祉サービスが日常生活の場で適切に提供できる地域の体制です。そのためには、地域のなかにあるバラバラな考え方・ケアの方法・書式・事業所・サービスをまとめていく仕組みが必要です。量的な整備よりも「質的なつながり＝統合」を目標にすることが1つの方向性となります。また、地域住民や家族とのつながり、地域資源のフル活用などインフォーマルなものも必要不可欠となります。

人口減少・人材不足のなか、それぞれの地域でお互いに支えていくための考え方・ヒントを大いにいただける時間となりました。

「生活保護制度について勉強しよう」

12月は後志総合振興局社会福祉課保護第一係長様に、生活保護について話をさせていただきました。生活保護の原則や扶助の種類などの概要を復習しながら、障害のある方を支援するうえで必要な知識を学びました。



生活保護は生活困窮者の最低限度の生活を保障するだけでなく、将来への自立助長を図ることを目的としています。倶知安町の住宅扶助は、家賃高騰により特別基準が認められました。布団などの被服費、炊事用具、暖房器具などは支給要件に当てはまる場合に支給されます。障害者加算は手帳の種類や障害年金の級によって要件が決まります。

その他にも事前に出た質問に答えていただいたり、その場で質問を深める時間を持つことができました。今まで疑問に思っていたことを聞ける良い機会となりました。

今後も引き続き担当者会議では、福祉や障害に関して勉強する機会を作っていけたらと思います。

(さとう)



児童ちゃれんじサポート さやえんどう

～冬休みの様子をご紹介します！～



冬休みは天候にも恵まれ、たくさん外遊びができました。雪遊びの活動場所が事務所の庭から公園に変わりましたが、場所なんて子どもたちには関係ない！どんな場所だって雪があれば立派な遊び場に変身！！全身で雪遊びを楽しむ子どもたちの笑顔があらわれていました(*^▽^*)



まったり女子トーク



すっぽりおさまる^o



ふわふわ雪にダイブ！



全身使って滑ります



俺に任せろっ！！



そこに山がある限り
ぼくらは上を目指す

* 戸外遊び *



* 室内遊び *



ギリギリアイスに
ハラハラドキドキ



さやWBC 開幕



小さな風船をうちわで
扇いで高く飛ばす

雪が降ると「やったー！雪だ！」と喜んでいる子どもたちの姿を見て、いつから雪をみて喜ばなくなったんだろう…と考えさせられました(ノ口) (いわき)

《お問い合わせ先》

特定非営利活動法人
しりべし地域サポートセンター
〒044-0014
虻田郡倶知安町南4条東5丁目1番地30
TEL 0136-23-4722
FAX 0136-21-2300
Eメール arata99@amail.plala.or.jp

法人ホームページ

<http://www12.plala.or.jp/sirisapo/>

※広報紙「しりサポ丸」はホームページで見ることができます♪



「コミュニティ茶屋」随時更新しています！

《お知らせ》

【人事】

～入社～

*倶知安地区…長井 未央

*余市地区…内山 玉枝

～退職～

*余市地区…能代 弥生

しりべし地域サポートセンター ＜事業内容＞

☆倶知安町☆

- 居宅サービスステーション あらた（ヘルパー）
- 羊蹄山ろく発達支援センター とまと
（児童発達支援・放課後等デイサービス）
- 児童ちゃれんじサポート さやえんどう
（放課後等デイサービス）
- 羊蹄山ろく相談支援センター
（委託相談支援事業・特定相談支援事業・一般相談支援事業）
- ほぶねっと（子どもの居場所・学習支援事業）

☆余市町☆

- サポートセンターたね／コミュニティ茶屋
（就労移行支援・就労継続B型・生活介護・就労定着支援）
- ・ふかふかひろば（放課後等デイサービス）
- ・まーぶる&ショコラ（共同生活援助）

《編集後記》

「雪にイライラしても仕方がない」
わかってはいるのですが、毎年どうしようもなく
イライラします。今年は、12月は鼻歌まじりで過ごし、
年末年始なんて余裕しゃくしゃくで過ぎていきました。し
かし、翌週の3連休から悪夢のように降り続け、アツとい
う間に雪の山…。「そうだよ、北海道だもんね」と自分を
納得させる日々。

そんななか、1月末に所用で釧路と帯広へ行きました。「あ
れっ？北海道だよな？」というくらい雪がないっ！！！！
改めて北海道の中でも雪が多い地域に住んでいるのだと思
い知らされました(ー)

そろそろ安価で画期的で使いやすい雪解けシ
ステムを誰か発明してくれないかな～と
現実逃避しています。

（あらかわ か）

ご賛同ありがとうございます！

余市町：小野さん

☆ しりサポ会員募集 ☆

しりべし地域サポートセンターでは、誰もがくらしやすい地域づくりを目指して、皆さまの想いをかたちにしていく活動を1歩ずつ展開しています。また、特定非営利活動法人の活動は、その主旨に理解・賛同してくださる地域の方々によって支えられています。多くのみなさまに会員になっていただくことでいろいろな事業を展開していくことができます。ぜひ、会員として参画をよろしくお願いいたします！

なお会員となられた方は、広報誌にてお名前を掲載させていただきます。また、コミュニティ茶屋内 necco で製造している焼菓子等のプチギフトをプレゼントいたします。

正会員 年会費一口 3,000円

賛助会員 年会費一口 1,000円

※会費は年度単位となります。

～お振込み先～

北海道信用金庫 京極支店 普 0549198

特定非営利活動法人しりべし地域サポートセンター会費

代表 安藤敏浩